

明石市は、「共生社会ホストタウン」に登録されており、誰にもやさしい「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進。  
 明石駅ビル(ピオレ明石西館)内において、障害の有無、年齢、性別、言語などにかかわらず、誰にもやさしい観光案内所、ユニバーサルデザインの公共トイレ、子育てサポート室等を備える「(仮称)ユニバーサルツーリズムセンター」を今年度中に整備。

## 現在の明石観光案内所



## 課題

- 車いすは方向転換することができないほど狭小であり、誰もが利用しやすいよう改善が必要。
- 誰にも分かりやすい位置にトイレが不足。

## 誰にもやさしい観光案内所

- ・ 観光案内所を移設・拡張
  - ・ ユニバーサルツーリズムや外国人対応を強化
- 車いすでも利用しやすいカウンター  
 ユニバーサル観光情報の提供  
 無料公衆無線LAN  
 多言語による案内の強化 等



(イメージ 京都市HP)



(本市外国語版パンフレット)

## 公共トイレ

- ・ 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの公共トイレをセンター内に整備



(イメージ 成田国際空港(株)HP)

## 子育てサポート室

- ・ 幼児トイレ、授乳室、おむつ交換台を備えた、子育て世代にやさしい空間を整備



(イメージ 福島県HP)

## 【整備予定地】



## 【イメージ】

